驛遞局認可

時事新報

[illegible]三丁目十一番地
發行所　時事新報社

東京　明治十七年八月十三日　水曜日　第七百三十六號　日曜日休刊　定價金三錢

公報

府縣

○大藏省達第五十九號

地租條例第四條ニ據ル公立學校地及郷村社地免租ノ儀ハ自今處分濟ノ上其事由ヲ具シ毎三ケ月分取纒メ翌月十日限リ屆出ヘシ

右相達候事

明治十七年八月十二日　大藏卿　山縣有朋

時事新報

支那外交官ノ苦心

安南事件ニ關シテ清佛紛議ヲ開キシ以來支那ニテハ天子幼沖ノ折柄慈禧皇太后ノ宸襟ヲ惱マセラル丶ハ申ス迄モナク宗室親王在廷百僚ヨリ以テ士庶人ニ至ルマデ和ニモ戰ニモ心ヲ勞シテ其紛議ニ掛念スル丆ナラント雖ヒ就中今度清廷ノ外交官ト爲リ清佛談判ノ局ニ當テ佛國使節ト樽俎ノ間ニ應對スルモノハ其焦心苦慮モ亦格別ニシテ殆ンド寢食ヲ安ンセザル程ノ次第ナル可シ蓋シ尋常一樣ノ場合ニテハ外交官ハ唯其政府ノ訓令ヲ奉シ外國ニ對シテ其訓令通リニ應對處置シテ可ナラント雖ヒ目下支那國内ニハ攘夷家上下ニ充滿シ敵ヲ料リ己レヲ量ラズシテ徒ニ自カラ尊大ニシ和親國ヲ誤マルナドイヘル書筆法ヲ固守シテ公ニ私ニ開戰ヲ悦ブモノアルガ故ニ李鴻章以下外交ノ局面ニ當リテ審敵審勢、專ハラ和議ヲ持スルモノハ外ノ佛國人ノ爲メニ其喉ヲ扼サレ内ノ攘夷家ノ爲メニ其背ヲ拊タレ刺衝ヲ腹背ニ受ケテ恰カモ其間ニ周旋スルノ勢ナキヲ得ズ而シテ其佛國人ノ強迫ハ喧嘩仕掛ケノ難題ニシテ之レト應對談判スルハ固ヨリ困難ナラント雖ヒ外交官ノ身ニ取リテハ内ノ攘夷家ニ對スル方却テ困難ナル所アランモ蓋シ佛國ノ難題ハ隨分無法ナルモ今月今日直ニ十八省ノ割與ヲ望ムニモ非ズ東京ノ明ケ渡シト云ヒ五千萬圓ノ償金ト云フガ如キ洪大無邊ナル支那帝國ニ取リテハ竹頭木屑トシテ見ルモ可ナラン佛國結局ノ目的ハいさ知ラズ今日マデノ處ニテハ其要求スル所ハ僅ニコノ竹頭木屑ノミ清國ニテ其要求ニ應セザレバコソ佛國モ彼レ此レト鬼面ヲ裝フナレ若シ之ニ應スル片ハ其鬼面モ亦忽チ佛顔ニ變シテ同時ニ其外交上ノ困難ヲ緩ムルヿナラン即チ佛國ノ求ムル所ハ土地ト償金トニ在ルガ故ニ之ヲ渡セバ立ロニ其意ヲ滿タス可シト雖ヒ内ノ攘夷家ニ至テハ眞實正銘ニ攘夷ヲ主張スルモノニシテ其頑固ニヨリ情僞ヲ存セズ徹骨貫腦唯一片ノ丹誠アルノミ然カモ世局ニ通セズシテ動モスレバ外國人ヲ仇敵視シ犬羊ノ邊陲ヲ窺窬スルヲ防テ二百年來愛親覺羅氏ノ煦育ニ報ス可シトテ心ノ底ヨリ斥攘ヲ熱望スルモノナレバ土地金銀ヲ以テ其心ヲ動カス可キニ非ズ支那ノ老將左宗棠、彭玉麟ノ如キハ孰レモ此流ノ人物ニシテ外交官ノ苦心ヲモ察セズ其一着ヲ外國人ニ讓リテ談判ノ破議ヲ圖議スルヲ見テ彼レ漏ヲ洋鬼ニ獻シテ中華ノ體面ヲ汚シタリトテ傍ヨリ之ヲ指斥スルガ故ニ清廷當局ノ外交官ハ外ノ職務ニ鞅掌スルヨリモ寧ロ内情ヲ鎮靜スルニ苦慮シテ内外ノ[illegible]ハ佛國人ノ強請ハ追ヒ剝キ同樣ノ申條ニシテ汝ハ其衣服ヲ渡セト云フガ如シ家財ニ富ンデ庫ニ數襲ノ衣裳ヲ藏スルモノニテモ其衣服ヲ剝ガル丶ハ誠ニ迷惑ナラント雖ヒ尚瞑目シテ其望ニ應スル丆ヲ得ベシ攘夷家ノ注文ニ至テハ汝ハ此熱湯ヲ飲メト云フニ等シク枉ケテ其注文ニ從ハントセバ爛唇焦舌ノ禍、踵ヲ回ラサズシテ至ラン目下清廷外交官ノ苦心亦想ヒ見ル可キナリ

今ヲ去ル丆三十餘年前米艦我浦賀ニ到來シテ舊幕政府ニ開港ヲ促カシ尋テ露英佛蘭等ノ諸國ガ通商修好ヲ申入レテヨリ攘夷ノ議論所在ニ起リ時ノ大老ノ姑息ヲ責メ外國奉行ノ無決斷ヲ咎メタレバ當時幕府ノ外交官ハ外國人ト攘夷家トニ夾マレ中ニ斷スル能ハズシテ姑息模稜ノ譏ヲ招キタリト雖ヒ今ニシテ之ヲ思ヘハ當時外交官ノ苦心ハ實ニ言フ可ラザルモノアリシナラン然ルニ目下清國ノ外交官ハ嘉永安政間ノ我外交官ト其境遇ヲ同ウスルモノニシテ我輩モ亦少シク同情ノ感ナキヲ得ズ畢竟支那ノ人民ハ今日ニ至ルマデ外國ノ情勢ヲ知ラズシテ我嘉永安政間ノ人ト恰カモ同夢ヲ夢ムルガ故ニ徒ニ外交官ノ肘ヲ掣シテ却テ其國ヲ禍スルモ恬トシテ之ヲ怪マザルノミ凡ソ文明國間ニ國スルモノハ其大利害大抵外國ヨリ來ルガ故ニ苟モ其人民タランモノハ世界萬國ノ思想ヲ養成シテ内外ノ強弱貧富文野等ヲ知リ事全國ニ關スルモノハ之ヲ外交官ノ責ノミニ歸セズ力ヲ量リ偏ヲ測リテ之ニ應ズルノ覺悟ナカル可ラズ我輩平生ノ持論ニ於テ我邦ノ人民ニ外國ノ事情ヲ知ル丆ヲ勸メ外國語ヲ習フ丆ヲ勸メ又外國ニ渡航スル丆ヲ勸ムルモ畢竟右等ノ理由アルガ爲メノミ國ニ無謀無識ノ頑民アリテハ如何ナル外交官ト雖ヒ其外交上ノ伎倆ヲ顯ハス丆能ハズ我輩ハ我邦ノ人民ガ隣國ノ過ヲ鑒戒ト爲シ一旦外國ト事アルニ臨ンデモ外交官ヲシテ獨リ焦心苦慮セシムルナカラン丆ヲ望ムナリ

雜報

○上海よりの電報　清佛事件日に益切迫なるに付上海より東京へ來る電報は其數頗る多きよしなれども去る五日佛國軍艦が台灣の雞籠(キールン)港を砲擊略取したりとの電報ありたる後は昨日の夕刻まで未だ何事も緊要なる新事件を報知し來らざるよしなり我々の聞込みたる電報の中に就き稍や大切なるものは左の如し

支那政府ノ依頼ニ由リ米國公使ガ仲裁ヲ申出シタレドモ佛國ハ斷然コレヲ拒絶シタリ

兩江總督曾國荃ハ早々上海ヲ出立シテ南京ニ歸ルベキ模樣アリ在福州ノ佛國艦隊ハ「パゴダ」島(福州ノ市街ヲ距ル「九英里」ノ下流)ト河口トニ分在シ何時ニモ福州造船所ヲ奪フノ用意ヲ整ヘ居レリ

福州地方ニテ近日開戰アラン

以上は昨夕までに我々の聞き得たる電報の二三なり尚ほ今日中には又何か報知あらんと思はる

○福州領取及び宣戰の報　一昨日發兌の横濱レコツユヂヤポン(佛字新聞)新聞に福州領取及び宣戰の報を掲げ「佛艦
は雞籠を陷れたるのみならず尚進んで福州の
清佛開戰いよ〳〵宣布せられしより我輩は此報
證する能はざれども一說に據れば清佛間の宣戰
の領取との二報を公報電信を以て在清佛國公使
るものありと云ふ」と記載したれども我々の聞
あては佛國は既に戰を台灣に開きたるにも拘はら
那に向ひて公然開戰を布告せざる由なれば右の
場の風說ある可しと思ひ居たるに昨日發兌の同
福州領取の報道を確實ならしむる通知は一つも
達せざれば昨日右領取事件に就て我紙上に記載
は全く無根なりと斷言せざる可らず」と記載し
昨日の電報欄内にも掲載せし如く福州の物情安
軍艦四艘碇泊所に在り又二艘の甲鐵艦も下流に
皆な負擔して立つの勢あるより畢竟右等の風說
あらんと思はる

○雞籠(キールン)略取の影響如何　佛國が雞籠を略取し
をして怖れしむ可きや將た怒らしむ可きやは目
目する所なるが昨日發兌の横濱レコツユヂヤポ
佛國が雞籠を取りたるとは支那政府をして佛國
早極度に達し若し尚其正當れ申條に應せざれば
置に出つることを知らしむるあらん否、同政府は
りたりと思はる左れば雞籠の略取は清佛の關係
破裂せしむるものに非ずして其平和條約の結局
むる原因なりと云はん方却て當然なる可しと信
記載したるが佛人が雞籠略取の後清廷外交官の
我々未た過去の事柄を報する確正なる報道を得
暫く記して後報を俟つ

○清國公使館　在永田町なる清國公使館へは本
本國政府より電報の達せし後一昨日迄一週間を
一回れ電信ざに達せざ該公使以下書記官は大に
る樣子なりと

○芳川内務少輔　去る六日新潟より群馬縣へ向
る芳川同少輔は來る十六日頃歸京の都合なるよ

○歐洲行　この程歐洲行を命せられたる野田工
官は長谷川同一等技手を隨へ去る六日神戸へ出
て便船へ乘組む都合なりと

○出張の命　宮内大書記官山口正定氏は御用に
侍從富小路敬直氏は同斷に付京都并に奈良へ出
昨十一日命せられたり

○御用掛　農商務一等屬平井象氏は一昨十一日
本官を免せられ即日同省に於て准奏任御用掛
圖)農務局事務取扱申付られたり

○各地巡廻　驛遞局に於ては今度各地郵便局の
一昨日吏員十餘名へ夫々巡廻を命したりと

○姿見鏡　北白川宮より英國へ御注文の姿見鏡
市五尺の玻璃(がらす)板(いた)にて此程到着せし由なり